

# 会 議 録

|         |  |                 |    |       |    |        |    |
|---------|--|-----------------|----|-------|----|--------|----|
| 会 議 名   | 第14回 宇都宮市環境審議会 会議録   |                 |    |       |    |        |    |
| 開 催 日 時 | 平成19年1月24日(水) 午後2時00分～午後3時40分  |                 |    |       |    |        |    |
| 開 催 場 所 | 宇都宮市役所 本庁14階 14A会議室  |                 |    |       |    |        |    |
| 出 席 者   | 環境審議会<br>委 員   | 遠藤 和信           |    | 真壁 英敏 |    | 岡本 治房  |    |
|         |  | 黒後 久            |    | 永井 護  |    | 小堀 志津子 |    |
|         |  | 岡 建雄            | 欠席 | 和田 尚久 | 欠席 | 高山 俊三  | 欠席 |
|         |  | 藤井 卓            |    | 半田 和男 | 欠席 | 阿久津 一枝 | 欠席 |
|         |  | 伊原 修            | 欠席 | 三宅 徹治 |    | 森本 久子  |    |
|         |  | 佐々木 英明          |    | 鈴木 保子 | 欠席 | 中垣 昭夫  |    |
|         |  | 大杉 悦子           | 欠席 | 高橋 功夫 |    |        |    |
|         | 事 務 局  | 福田宇都宮市環境部長ほか13名 |    |       |    |        |    |
| 公開・非公開  | 公開・傍聴人 0名  |                 |    |       |    |        |    |
| 議 題     | <p>1. 議 事</p> <p>(1) 報告事項<br/>「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に係るパブリックコメントの結果について</p> <p>(2) 審議事項<br/>「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に係る答申(案)について</p> <p>2. その他</p> |                 |    |       |    |        |    |
| 協 議 結 果 | <p>1. 議 事</p> <p>(1) 報告事項「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に係るパブリックコメントの結果について了承</p> <p>(2) 審議事項「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に係る答申(案)について了承</p>                     |                 |    |       |    |        |    |

|  |  |
|--|--|
| <p>発言要旨 (1) 報告事項「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に係るパブリックコメントの結果について</p> |  |
| 永井会長   | <p>それでは早速、議事に入りたいと思います。「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に係るパブリックコメントの結果について、まず、事務局より報告をお願いします。</p>   |
| 事務局  | <p>資料に基づいて報告。</p>  |
| 永井会長   | <p>ありがとうございました。このパブリックコメントの結果につきましては、報告事項としておりますが、委員の皆様から何かございましたら、ご意見をお願いいたします。</p>   |
| 岡本委員   | <p>パブリックコメントの結果の中で、項目22から25に関連することについてですが、意見に対する対応(案)としては、素案の44ページに記載のあるように対応しますとのことですが、これだけではなくで、もう少し具体的なものを追加しておく必要があるのではないかと思います。私自身も森林ボランティアに関わってきましたが、そういった感想を持っておりますので、ご配慮いただければと思います。</p>   |
| 永井会長   | <p>事務局から何かございますか。</p>  |
| 事務局  | <p>森林整備関係につきましては、森林整備計画を推進する中で、岡本委員のご指摘につきましても、実効性のあるものを提唱していきたいと考えております。この点につきましては、本計画の中では、あくまでも、森林整備事業や森林吸収源対策プランを推進しますという、大きな括りをさせていただきまして、よく担当部門と調整・整理をさせていただければと思います。</p>   |
| 岡本委員   | <p>広島県の庄原市では、国から交付金を受け、今年度中にバイオスタウンの申請をするという話もございます。こういったことを含めてお考えいただければと思います。森林整備の分野では、間伐材を使えば、一番森林整備が進むと思います。庁内で意見調整する中で、木材を使用すれば、森林整備が進むのですから、そんな努力をしてもらいたいと思いますし、もう少し具体的なものを、できれば表示していただくようお願いいたします。</p>   |
| 永井会長   | <p>主要施策ですと、「森林整備事業の推進」に関わってくるものだと思いますが、この内容が主要施策として耐えうるようなものになっているかどうか、といったことですね。</p>  |
| 岡本委員   | <p>気持ちはわかりますが、そういった努力を一步でもできるような配慮をお願いしたいということです。</p>  |
| 永井会長   | <p>ほかにいかがでしょうか。</p>  |
| 遠藤委員   | <p>項目の5番と30番に関連して印象と意見を述べさせていただきたいと思います。運輸部門の削減についてのパブリックコメントとしての意見が少なかったなという個人的な意見を持っています。やはりこれからは、まちづくりの観点で、車から排出されるCO<sub>2</sub>の削減が重要だろうと思います。そういった意味からして、市民・事業者の方に計画を実行していただくための進行管理といった、行政が作成した計画に対して、地域が削減努力ができるような仕組みを作っていかなければなりませんし、それを市民の方々に実行していただくかなくてはならないと思います。計画をある程度進めて、成果としてどうも難しいとか、そういった場合には、別の方法とか、PRするとか、啓発活動とか、様々なことを組合せながら、進めていく必要があると思います。まずは庁内で優先順位を理解しないと、一方では車の利用を促進するような政策をしていて、もう一方では、CO<sub>2</sub>排出削減のために、車の利用を抑制するといったような、ちぐはぐな構造にならないように、トータル的に、今何が求められているのかといったことを理解した上で、進めていただきたい。そのためのイニシアチブをどこが取るのかといったことを、環境部だけではなく、三役から、そういう意識を持って進めていただかなければ達成できないと思いますので、強く要望をいたします。</p> |

|      |  |
|------|--|
| 事務局  | 私どもといたしましても、計画を作ったからにはこれを達成をしていく、と強く考えているところでございます。今の遠藤委員からのご意見は、私どもといたしましても、力強いお言葉をいただいたと思っております。事業等につきましても、例えば年次別の計画を立てて実行していくことや、推進に当たりましては、市民団体等とのネットワークを構築していくなど、また庁内の体制についても、よく連携を取り進行管理をしていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。    |
| 遠藤委員 | 私の印象としては、目標値が低めかなという個人的な意見を持っております。計画を進めていく上で、目標を達成したからいいのだ、というのではなくて、さらにその上の目標に向けて取り組むようにしていただきたい。ましてや、EUでは日本と比べものにならないような削減目標を掲げて実行していこうとしているわけですから、いずれ世界的な大きな流れが来ると思います。そういったことにも対応できるように汲んでいただき、進めていただければと思います。                    |
| 永井会長 | ほかに何かございませんか。  |
| 真壁委員 | パブリックコメントの応募について、応募いただいた数が少ないのではないかと思います。そのことについては、どのように考えてらっしゃいますか。   |
| 事務局  | 環境問題に限らず、私ども市といたしましては、様々な計画を作る場合にパブリックコメントという形で、市民の皆様からご意見をいただいております。そういった中で、本計画につきましては、決して十分な数ではございませんが、8件で31のご意見をいただけたということは、比較的多くの方に見ていただけたのではと考えているところでございます。  |
| 真壁委員 | それにしても、8件というのは少ないのではないかと思います。もしパブリックコメントを実施するのであれば、やり方として、単位自治会へ通知を出すなど、もう少し手法を考えなくてはならないのではないかと考えます。  |
| 小堀委員 | 実施時期もあまり良くなかったのではないかとこの気もします。  |
| 永井会長 | 最近必ずパブリックコメントは実施しておりますが、すでにパブリックコメント自体が、マンネリ化しており、免罪符的な意味合いを持ってしまっているのではないのでしょうか。情報公開と市民参加ということで、一つの政策になっているのですが、市としての位置付けや手法について、庁内で議論した方がよろしいかと思います。   |
| 岡本委員 | 我々議会で、地産地消に関してパブリックコメントを実施したのですが、やはり同じように一般からの応募は少なかったです。しかしながら、我々は農協や商工会議所に直接伺って様々なご意見を聴き、議論することができました。このように、関係する団体に出向くなども必要なのではないのかなと思います。   |
| 事務局  | 貴重なご意見ありがとうございました。庁内においてパブリックコメントを統括している部門にも、委員の皆様からのご意見ということでお話をさせていただきたいと思っております。私どもといたしましても、これからの計画作りの中でも、よく検討してまいりたいと考えております。  |
| 永井会長 | 行政は、実行できるかどうかという視点から考えていくので、意識としては市民より遅れていると思います。市民の方々は実効性はあまり考えないですから、意識としては市民の方々のほうがそれ以上先まで認識している。しかし、具体的に何をしたらいいのか分からないといった部分があると思います。そういった面では、このような「市民の意識」というものをよりどころとして、市民の方々がどれくらいのレベルで考えているかを把握し、それを行政施策に反映させていくべきなのではないのでしょうか。 |
| 黒後委員 | 項目の26についてご意見を述べさせていただきたいと思っております。今回のパブリックコメントの件数を考えると、この難しい問題に、31のご意見があったということは、ある程度評価すべきであるし、多くの方が環境についての意識や関心度としては、非常に高いものがあるのではないかと思います。私自身も多くの場面で環境問題について触れる機会が多いですし、皆さんも様々な場面で環境問題に出会うことがあるかと思いま                                  |

|   |   |
|---|---|
|   | <p>す。そういったことから、ここでご意見が出されている「二酸化炭素半減宣言都市」の垂れ幕を掲げるということは、言葉はいずれにいたしましても、非常に効果的であると考えます。対応としては、啓発活動を行う際に、分かりやすい周知の手法を検討しますとなっておりますが、このことについて、事務局の考えをお聞きしたいです。</p>   |
| 事務局   | <p>温室効果ガスの削減ということは、私たちの命題であると認識しているところでございまして、それを達成するために、今後本計画に基づいて、様々な事業を展開していくこととなります。その中で、この「二酸化炭素半減宣言都市」といった言葉を直接活用することは難しいですが、このような主旨につきましては、計画を実施する際に、大いに参考にしてまいりたいと考えているところでございます。</p>                                     |
| 永井会長  | <p>こういったことも、庁内組織等を説得するための材料として活用するべきだと思います。市民から出てきた意見を上手に利用して、実行に移していくことが必要なのではないでしょうか。</p>   |
| 事務局   | <p>この文言そのものを使うかどうかはいずれにいたしましても、こちらの対応(案)といたしましては、「分かりやすい周知」といった表現ではなく、「積極的な周知」といったような、対外的にも対内的にも、市として姿勢をお見せできるような表現にしていきたいと思っております。</p>   |
| 黒後委員  | <p>環境部局の方々は、いろいろ苦勞されていて大変だと思いますが、ぜひ頑張っていたきたいです。</p>   |
| 遠藤委員  | <p>おそらく行政としては「半減」という言葉に抵抗があるのではないかと思います。計画の中では、半分とはしておりませんので。それは言葉の問題ですから、例えば「二酸化炭素削減宣言都市」などでもいいのではないのでしょうか。せっきくの声が出ているのですから、ぜひ積極的に取り組んでいただければと思います。応援しております。</p>   |
| <p>発言要旨 (2) 審議事項「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に係る答申(案)について</p> |   |
| 永井会長  | <p>それでは続いての議事に移らせていただきます。「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に係る答申(案)について、まずは事務局からの説明をいただきたいと思っております。</p>  |
| 事務局   | <p>資料に基づいて説明</p>  |
| 永井会長  | <p>ありがとうございました。それでは委員の皆様からのご意見をいただきたいと思っております。</p>  |
| 岡本委員  | <p>素案の7ページの森林面積の割合と、8ページの山林・原野の割合とでは、異なる数値を使われています。統一を図るようにするべきではないでしょうか。</p>   |
| 事務局   | <p>7ページの森林面積の割合の19パーセントという数値は、森林法上の数値でございまして、8ページの山林・原野の16.9パーセントという数字は、土地利用関係の資料から出したものでございます。これらにつきましては、委員ご指摘のとおり、統一するように調整をさせていただきたいと存じます。</p>   |
| 小堀委員  | <p>宇都宮市の森林面積が17パーセントということで、結構な割合を占めていると思っておりますが、落葉については、どのように処理しているのでしょうか。ある市町村では、落ち葉を行政が買い上げ、肥料化した上で、販売するという仕組みができていところがありまして、森林が整備されたとの話を聞きます。公園の落ち葉についてもどのように処理されているのですか。</p>  |
| 事務局<br>(公園緑地課)                                      | <p>宇都宮市としましては、一時期、堆肥化して再利用ができないかどうかということとは検討しましたが、実施はしていない状況でございまして。しかしながら、長岡樹林地や鶴田沼といったところにおいて保全活動をしている「グリーントラスト宇都宮」というところでは実施をしております。実施の方法につきましては、堆肥化することもございまして、山の土壌にする方法を取っております。またカブトムシなどの昆虫の育成のための床として利用しているケースもございまして。</p> |
| 事務局   | <p>剪定枝葉を始め、落ち葉の資源化につきましては、昨年度策定いたしました「一般廃</p>   |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>棄物処理基本計画」におきまして、平成22年度から、今後民間活力の導入も踏まえまして、資源化していくという方向では位置付けております。この資源化に向けて、分別をするなど、市民の方々からのご協力をいただくことを含めて、制度やルールを作っていくかなければならないということで、今後の大きな課題であると認識しております。</p>                 |
| 遠藤委員 | <p>森林整備にも非常に効果的だと思いますので、ぜひ進めていただきたいと思います。</p>   |
| 永井会長 | <p>素案を見ていて思ったのですが、素案15ページに「温室効果ガス排出量の現状」とありますが、内容としては予測も入ってきますので、「現状」という言葉は使わないほうがいいのかと思います。そのほかに何かございませんか。</p>   |
| 遠藤委員 | <p>答申(案)の文面の中で、『また、今後の計画の推進に当たっても、以下に掲げる点に留意し、「脱温暖化社会」の実現に向け、積極的に取り組まれることを要望します。』と明記されておりますが、私は、温暖化防止というものは、基本的には、「持続可能な社会」の中でのものだと思っておりますので、「持続可能な社会」という言葉をどこかに入れていただきたいと思います。</p> |
| 永井会長 | <p>ただいまのご要望につきましては、私と事務局とで検討させていただければと思います。そのほかにかがでしょうか。</p>  |
| 三宅委員 | <p>素案77ページで、進行管理について触れられていますが、本計画については、進行管理をいかにやるかということが、目標の達成に繋がると思います。そういった意味で、「定期的な把握」と明記されておりますが、点検頻度も明示すべきだと思います。私の中では毎年度くらいかなと考えているのですが、いかがですか。</p>                           |
| 事務局  | <p>私どもの行動目標として掲げた部分につきましては、毎年度の把握は可能かと思われませんが、温室効果ガスの総排出量につきましては、毎年度と言えるかどうか、厳しいところではないかと考えております。しかしながら、できる限り把握をいたしまして、市民の皆様公表できるようにしていきたいと考えております。</p>                             |
| 永井会長 | <p>実際に明記することはいかがでしょうか。</p>  |
| 事務局  | <p>この部分につきましては、「行動目標」部分と「温室効果ガスの総排出量」部分を二つに分けて、行動目標については「毎年度把握していく」と記載し、温室効果ガスの総排出量については、表現を検討しながら、記載していきたいと考えております。</p>  |
| 永井会長 | <p>私は「行動目標」の部分だけ、毎年度と把握していくとの記載があればいいのではないかとと思いますが、三宅委員いかがでしょうか。</p>  |
| 三宅委員 | <p>それで結構です。</p>   |
| 永井会長 | <p>では、それは明示していただきたいと思います。ほかにかがでしょうか。</p>  |
| 森本委員 | <p>この素案を拝見させていただいて、全体的に、具体的なことが見えない状況で発信していくような印象がありまして、もう少し踏み込んだ内容を明記していただけないかなと思います。意識啓発なども計画の中にはありますが、何かを支援するような、市民の皆さんのやる気や励みを喚起させるようなものにしていくべきなのではないかと思ます。</p>                 |
| 永井会長 | <p>森本委員のご発言を受けて、この計画の中で、具体的に市民の方々に対する支援という部分を明記した上で、市民の方々の契機付けにしていくということはいかがということですが、事務局から何かコメントはございませんか。</p>   |
| 事務局  | <p>現在のところ、そういった制度を導入するのは、なかなか難しいのかなという部分ではございますが、今後本計画を進めていく中で、各施策の進捗状況等をよく勘案しながら、また、本審議会等からご意見をいただきながら、研究していく提案の一つであると受け止めさせていただきます。</p>   |
| 永井会長 | <p>補助などの支援については非常にシビアな問題で、実施するに当たっては、実施するだけのきちんとした論拠が必要になると考えられます。またそういった制度を実施するためには、いまやっている施策の見直しをし、オープンにした上で議論をする必要もある</p>  |

|      |  |
|------|--|
|      | かと思えます。非常に難しい課題ではあると思えます。ほかにご意見はございませんか。   |
| 藤井委員 | 確かにこの内容を見ると、総論的な部分が多く、実施する部局が違うところに関しては検討すると述べているだけに留まっていると思えます。先ほど毎年度見直すというお話がございましたが、一年に一回というスパンでは、予算的な部分を考えても、悠長すぎて、実現できないのではないかと思いました。そうはいつでも、毎月見直すということはできないでしょうから、どこかで折り合いを付けなくてはならないと思えますが。   |
| 永井会長 | 宇都宮市の場合、いわゆる県の政策マネジメントのような、各課で実施している施策に対する見直しについては、どのように実施しているのでしょうか。  |
| 事務局  | 細かい事務事業レベルにつきましては、「事務事業評価」といたしまして、改善していくものや、引き続き実施していくものなど、評価を加えながら、毎年ローリングさせております。また、重要な施策につきましては、「実施計画」といたしまして、市としてどのようなものを重要事項と位置付け、施策を展開していくかということで、毎年3年ごとの計画でもって、ローリング・見直しを図っております。本計画につきましては、より実効性を保とうということで、数値目標等についても明示しておりますが、どのように実施していくのか、どれくらい予算を付けたほうがいいのかなどという部分につきましては、やはり毎年の予算と実施計画の時期に、毎年度の評価を見ながら、どのような対策が必要なのかを検討し、別途見直しを実施していきたいと考えております。  |
| 永井会長 | 予算に反映できるような進行管理をしていかなければならないのではないかとということですが、全体の施策をマネジメントする中で、チェックできるような体制で進行管理していただければと思います。ほかにご意見等はございませんか。   |
| 遠藤委員 | まず、43ページに、「バランスのとれた環境配慮型交通体系の整備の推進」とありますが、昨年12月の議会において、公共交通戦略を立てるという方針が出たかと思えます。ですから、この点については、最新情報を入れ込んでいただきたいかなと、私は思います。また、庁内の調整をうまくやっていないために、ちぐはぐな部分が出てしまっているところもあります。43ページの「ウ」には、「コンパクトで機能的なまちづくりの推進」と謳われておりますが、市街化調整区域で、6メートルの道路があれば、家が建てられるようになってしまい、現実には市街化調整区域にもどんどん家が建ってしまっている訳です。このようなアンバランスが出てしまっています。ですから、三役をはじめ、そういった意識を持って、庁内の調整をしていただかなければならないと思えます。また、先ほどのお話にも出ました、中心部に公共交通を利用していらっしゃる方に対して、何かフィードバックできないかという部分についてですが、私は毎月1日と15日は、1,000円で1,400円分バスに乗れるバス利用デー用のバスカードを利用していますが、実際にこういったものを利用していらっしゃる方はほとんどいないでしょう。ですから、そういった場合はやり方を変えるなどして対応していかなければなりません。一つ例を挙げますと、韓国のソウル市は、人に優しい都市として、文化都市、国際都市を目指しております。市役所本庁舎の周りに約400台あった駐車場を、50台に減らしたということがありました。このように、施策に何かビジョンを示して、具体的に進めないと、なかなか変わらないだろうと思えます。 |
| 永井会長 | ほかになにかございますか。  |
| 森本委員 | 「もったいない運動」について、宇都宮市が全国大会を実施するという話を耳にしましたが、これはどこがイニシアチブを取って実施するのでしょうか。  |
| 事務局  | 「もったいない」の全国大会を実施していきたいということで、先日新聞に掲載されたところでございますが、担当部局は私ども環境部でございます。現在予算獲得に向けて取り組んでいるところでございます。実現した暁には、委員の皆様にも、ぜひとも様々な形でご協力をいただければと思いますので、よろしくお願いたします。   |
| 小堀委員 | 学校を建設する際の木材利用やパブリックコメントの結果にもありますように、学校の緑化についても進めていただければと思います。  |

|                |   |
|----------------|---|
| 永井会長           | 宇都宮市は公共施設における緑化運動の推進していくようなものがありましたよね。  |
| 事務局            | 「森林吸収源対策プラン」の中で、公共施設への木造・木質化の推進ということが掲げられておまして、平成12年度から平成15年度にかけて、「木のぬくもり教室整備事業」というものが実施されたところでございます。その中で、市内の中学校が全部で21校ございますが、特別教室に木製の学習机や椅子を整備したということがございます。また平成14年度からは集成材を利用した小学校の体育館の建設事業なども実施されている状況でございます。                                       |
| 事務局<br>(公園緑地課) | 緑化運動の推進につきましては、緑化に当たるか微妙なところかとは思いますが、新築記念樹や出生記念樹の配布といった制度は、宇都宮市として持っております。そのほかにも大規模開発等については、緑化協定を進めるように指導をしているという状況でございます。それから、先ほどご議論のございました、落ち葉の再利用についてでございますが、公園としては実施していないというお答えをさせていただきましたが、南部総合運動公園では発生した落ち葉・剪定については、チップ化をしておりますので、訂正をさせていただきます。 |
| 永井会長           | それではお時間もございますので、それそろまとめに入りたいと思います。本日ご議論いただきました部分を踏まえまして、答申書を作成するというところで、その作業につきましては、会長一任ということで、私と事務局で詰めさせていただくということでしょうか。   |
| 出席委員           | (異議なし)  |
| 永井会長           | ありがとうございます。ではそのような形で進めさせていただきたいと思います。また市長への答申につきましては、佐々木副会長とともにお渡ししたいと思っております。最後にその他ということで、事務局から何かございますか。   |
| 事務局            | 「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」策定記念講演会について報告<br>環境部長お礼のあいさつ   |
| 永井会長           | それでは、以上をもちまして第14回 宇都宮市環境審議会を閉会いたします。一年間にわたるご審議、どうもありがとうございました。  |
| 閉会 : 午後3時40分   |   |